ふれあいネットワーク
曽於市社会福祉協議会情報紙
第90号
令和６年２月15日

手と手

やさしさ
100パーセント

今号の表紙絵　「日だまり」

大隅美術協会や曽於美術協会に所属し、日本画を描いています。母が猫好きで、家にはいつも猫がおり、家族の一員でした。我が家の庭で日だまりの中くつろぐ猫の何気ない日常の風景を描かせていただきました。

益山 順子 さんの作品

理念　人と人とのつながりを大切に地域と共に歩む
発行／社会福祉法人 曽於市社会福祉協議会 曽於市財部町南俣 504 番地１　（財部保健福祉センター内）
TEL：0986-72-0460・0480　FAX：0986-72-0425

会長挨拶

社会福祉法人曽於市社会福祉協議会　会長
山本　ひとみ

皆さまには、健やかに新たな年をお迎えのことと存じます。本年がより良き一年となるようお祈いたします。既に一か月がすぎ、梅の花も甘い香りを漂わせ満開となり春の訪れを感じます。

日頃から市社会福祉協議会が推進する地域福祉事業に温かいご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

長く続いた新型コロナウイルス感染症による制限の全てが解除され、多くの方々が希望を持って令和６年を迎えられたことと存じます。しかしながら早々に、石川県能登半島地震、羽田空港での航空機衝突事故と重く暗いニュースが続き全国的に不安な年明けとなりました。

能登の厳しい寒さと電気や水道等のライフライン、道路の寸断がつづく孤立地域では、ご近所同士が食料品等を持ち寄り助け合いながらビニールハウスで過ごす様子を目にし、ふだんのくらしで根付いた住民同士の絆や地域の力を感じました。被害の全容や復旧にはまだまだ時間を要する状況です。今もまだ困難な生活を送っておられる方々に心からお見舞い申し上げます。

さて、昨年末、国立社会保障・人口問題研究所が発表した 2050 年の市町村別将来推計人口によると、県内全市町村で 20 年に比べて人口が減り、65 歳以上の高齢者の割合は上昇する一方、14 歳以下の年少人口割合は 16 市町で 10% を割り込み、少子高齢化が一層進み、15 から 64 歳の生産年齢人口は 20 年から 35.4% 減の 558,000 人になると見込まれています。2050 年の曽於市は、総人口 17,078 人、高齢化率 52.14%、０から 14 歳の割合 8.47%、人口減少率 48.7% と推計されています。

急激に進む少子高齢化、人口減少に伴うコミュニティの機能低下、社会的孤立等の増加や生活課題の複雑、複合化など地域福祉の重要性はますます高まっており、社会情勢や地域の生活環境の変化にいち早く気づき、常にその変化に対応できるよう新たな取り組みが必要となります。

一人ひとりのできること、できないことをつなぎ合わせることで助け合いが生まれ、人と人とがつながり、認め合うことから新たな支え合いが始まります。

本会は、未来を見据えて、住民とともにどのような地域づくりをめざすのか。「自分たちがどうありたいのか」ではなく「どうしていくのか」という地域づくりの「連携・協働の場」としての役割を果たしていきたいと考えております。

これからも地域福祉推進の中核的団体として、地域の皆様をはじめ、あらゆる関係機関・団体等とのネットワークを活かして「ともに生きる豊かな地域社会の実現」に向けて様々な地城福祉事業に取り組んでまいります。今年も引き続きご支援とご協力をお願い申し上げます。

地域福祉活動者の紹介

日頃より地域福祉活動を行っている田口さんと上井さんがこの度**一般社団法人日本善行会表彰**を授与されました。
日本善行会は、善行精神の普及、善行実践活動を通じて明るく住みよい社会環境づくりを目指す団体です。
田口さん、上井さん、おめでとうございます。

田口　淑子 さん

永年、民生委員活動や地域女性団体役員、財部校区南俣社協会長、高齢者体操教室の指導者として地域社会に貢献できましたことを認められて、誠に嬉しく思います。これからも多くの皆様の協力を得て、頑張りたいと思っております。

上井　悦子 さん

ボランティア活動を通して人との交流、住みよい環境づくりに先輩方と一緒に活動して参りました。この度の表彰はまるこ食堂（子ども食堂）スタッフ５人目となりますが、まだまだ短い活動の中、身に余る光栄でございます。今後も努力を重ねて参ります。

生活福祉資金貸付制度のご案内

生活が困窮している方へ

生活福祉資金って？

生活福祉資金貸付制度は、低所得者世帯や障害者世帯、高齢者世帯に対し必要な資金の貸付と併せて相談支援を行うことで、経済的な自立を促進し、安定した生活を送れるようにすることを目的とした制度です。

貸付の対象となる世帯は？

低所得者世帯

市町村民税が非課税・均等割課税世帯であり、世帯の平均的な月収が生活福祉資金貸付収入基準額を下回っている世帯。

障害者世帯

身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方の属する世帯、その他、障害者総合支援法によるサービスを利用している等、これと同程度と認められる者の属する世帯。

高齢者世帯

日常生活上介護を要する 65 歳以上の高齢者の属する世帯であり、市町村民税が非課税・均等割課税で生活福祉資金貸付収入基準額よりも収入が下回っている世帯。

※上記の世帯に該当しても、他法優先などにより貸付の対象とならない場合があります。

貸付の種類は？

総合支援資金

生活支援費

住宅入居費

一時生活再建費

失業等により生活困窮となった世帯の再就職までの生活費や就職活動費、生活再建、住宅の賃貸契約に必要な費用など

福祉資金

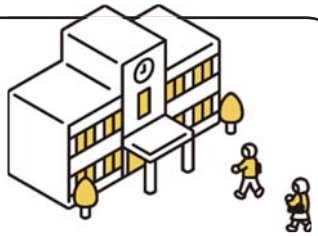
福祉費

日常生活を送る上で一時的に必要な費用（技能習得経費、住宅増改築経費、福祉用具購入経費など）

緊急小口資金

日常生活を送る上で一時的に必要な費用や緊急かつ一時的に生計の維持に必要な費用

教育支援資金



教育支援費

高校、専修学校、大学等に就学するために必要な費用（授業料、寮費・家賃、通学費用など）

就学支度費

高校、専修学校、大学等の入学に際して必要な費用（入学金、制服代、教科書代など）

不動産担保型生活資金

低所得世帯向け・要保護世帯向け

高齢者世帯の生活費（現在居住しており、一定額以上の資産評価のある不動産を担保に貸付契約を締結）

※要保護世帯向けは、保護の実施機関が資産の保有要件を除き保護が必要と認める世帯が対象

ご相談や申込み、資金の詳細については曽於市社会福祉協議会へお問い合わせください。

本所（財部）☎ 0986-72-0460｜末吉支所 ☎ 0986-76-2224｜大隅支所 ☎ 099-482-3013

ふくしの学びと地域交流で、思いやりの心を育む

ふくしワークショップ　令和５年 12 月 16 日　そお生きいき健康センター

市内の小学生を対象に、ふくしワークショップを行いました。今回は「**ふくしの学びと地域の方との交流**」をテーマに開催しました。「ふくしについて」の講話の後、地域福祉活動に取り組まれているミニデイ「あさひ会（大隅）」「ななつ星（末吉）」と、実際にミニデイで行っている体操などをしながら交流をしました。ワークショップでは、ミニデイの方と交流しながら、財部地区民生委員・児童委員の宮田氏、徳石氏にご指導をいただき、「しめ縄づくり」や「クリスマスリースづくり」に取り組みました。参加した小学生が、ふくしについて学び、地域の活動を知るとともに、世代を越えて交流することで相互理解を深める機会となりました。また､活動の終わりに子どもたちが自らミニデイの方へメッセージカードを贈る姿がとても印象的でした。今後も、地域の中で思いやりの心を育み、支え合いの地域づくりを進めていきます。

ちいきのうごき

ふれあいマルシェ　～赤い羽根共同募金の助成金を活用～

令和５年 11 月 25 日　A コープ鹿児島末吉店

A コープ鹿児島末吉店のご協力をいただき、今年度2回目の開催をいたしました。社会就労支援センターのどか園、障害福祉サービス事業所大隅シオン舎が参加され、事業所で作っている野菜やおでん、けせん団子、パンやクッキー手芸品の販売を通して会話することでお互いを身近に感じていただく機会となりました。また、**ゆずゆるりの会**の方や**ピアサポーター**がチラシを配り、活動の周知を行いました。今後も地域で生活されている障がいをもった人が、その人らしく安心して暮らせる地域共生社会を目指して、様々な取り組みを行ってまいります。

ゆずゆるりの会とは

障がい、ひきこもり等で悩んでいる方が悩み事や困り事等、ピアサポーターや同じ立場の仲間と一緒に話せる場所です。

ピアサポーターとは

自身の病気、ひきこもりなどの経験を活かして、近い境遇にある仲間の退院や地域での生活を応援する人のことです。

地域共生社会の実現を目指して連携を強化

令和５年度 地域づくり連絡会

令和５年12月５日　そお生きいき健康センター

校区・地区公民館長及びコミュニティ協議会長並びに校区社会福祉協議会構成員の参加による「地域づくり連絡会」を開催しました。本連絡会は、校区・地区公民館等と校区社協が、長年にわたり緊密な連携を重ねながら福祉のまちづくりに取り組んでいる中、その連携の強化を図る機会として、毎年、開催しています。今回は、鹿児島大学法文学部准教授の金子満先生に「**新たな地域共生社会を目指して**」と題して、講演をいただきました。少子高齢化や人口減少の進行、社会的孤立の増加や生活課題の複雑、複合化など、地域福祉の重要性が高まる中、私たちを取り巻く社会情勢や生活環境、価値観などが変化していることを知り、それを認めることの必要性や一人ひとりのできること、できないことをつなぎ合わせることで助け合いが生まれ、そのためには、皆が知り合い認め合うことが大切であること、自分たちが「どうなりたいのか」、「どうありたいのか」から「どうしていくか」を考えることで意義ある活動となることなど、地域共生社会の実現を目指した地域づくりにおける大きなヒントをいただき、皆で共有する機会となりました。

ちいきのうごき

子どもからのSOSを地域で受け止めるために

令和５年度 子ども・子育て支援連絡会

令和６年１月26日　そお生きいき健康センター

参加者は曽於市内の子育てに関わる機関・団体、民生委員児童委員協議会会長、主任児童委員等です。

一般社団法人髙橋聡美研究室代表髙橋聡美氏を講師に招き、「子どもからのSOSの受け止め方」と題して講話をいただきました。子どもの価値観を知り、受容と傾聴から自己決定を促すことで信頼関係が築かれることを学び、私たち一人ひとりが子ども達の生きていく力になれるという認識を深めることができました。

講話後の意見交換では、「日頃から横のつながりがあることでお互いに相談できる」「関係機関と連携しながら課題が小さなうちに見守る体制づくりが必要」「各機関の支援内容を知らないと連携できないので、今日のような連携を築ける場がほしい」という意見がありました。

それぞれの活動を支援の入り口と捉え、生活課題を抱える方が適切な支援につながるよう、これからも機関・団体の相互のつながりを作っていくと共に、情報や課題を共有し、一緒に考え、取り組んでいきたいと思います。

＼一人ひとりが輝く地域づくりフェスタ／

令和５年12月１日、末吉総合体育館に市内63カ所で活動している体操教室のメンバー140名が集まり、「一人ひとりが輝く地域づくりフェスタ」が開催されました。体操教室が独自に行っている体操や製作活動などの発表、普段行っている体操を皆で行いながら一緒に動作のポイントを確認するなど、同じ活動をしている仲間がたくさんいることを知り、体操教室同士の交流が図られました。その他、在宅歯科衛生士の口腔体操、市保健課による「サンバのリズムで楽らく体Soo！」の指導や口腔がん検診、武道館では、各種ブースが設けられ、地域で活躍されている方々の手作りの小物や絵画、折り紙作品などの展示、のどか園の野菜やちまき等の販売、末吉デイサービスセンターの筋肉量・体脂肪量測定もあり、参加者からは「元気をもらえました。交流を持つことの大切さ、人とのふれあいが大事だと感じました」と声が聞かれました。体操教室では、介護予防と住民同士のつながりづくりが図られています。今後も活動の推進を行っていきますので、体操教室の立ち上げなどご相談がありましたら、曽於市社会福祉協議会へご連絡ください。

曽於市地域包括支援センターより

TEL:0986-76-8824

オレンジミサンガプロジェクト

高齢者が支えられる側だけでなく、持っている力を発揮でき、子どもたちにも高齢者を身近に感じて欲しいという思いから、**認知症サポーター養成講座を受講した子どもたちに、高齢者の皆さんが作ったミサンガをプレゼントする「オレンジミサンガプロジェクト」**を行っています。

▲デイサービスセンターゆずり葉の皆さんをはじめ、以前「手と手」で紹介した記事を見て興味を持ってくださった北部ほっとカフェや北部体操教室の皆さん、また個人的にも作ってみたいという声をいただき、**300本を超えるミサンガ**ができました。

◀そのミサンガを末吉デイサービスセンターの皆さんのご協力により、メッセージカードを添えて袋詰めしていただきました。

◀今年度は**曽於市内6か所の小学校で認知症サポーター養成講座を受講した合計143名の子どもたちにミサンガをプレゼントすることができました。**きっと高齢者の皆さんの温かい想いが子どもたちに届いたことと思います。これからも笑顔と希望のあふれる曽於市を目指して心をつなぐプロジェクトに取り組んでいきます。

曽於市社会福祉協議会

権利擁護センターより

あなたやご家族、知り合いの方の
困りごと・心配ごとはありませんか？
お気軽にお問合せください
TEL：0986-72-0460

ー　福祉サービス利用支援事業　ー

（日常生活自立支援事業）

支援員として地域で活躍してみませんか？

高齢者や障がい者でお困りの方が安心して暮らせるために
お手伝いしていただける“支援員”を募集しています。

“支援員”ってどんなことをする人なの？

利用者の見守り

利用者の様子や
身の回りの変化など
訪問での気づきを
専門員に伝えます。

日常的な金銭管理のお手伝い

生活費を払出し、
利用者へお届けします。
必要な支払いの
お手伝いをします。

手続きのお手伝い

郵便物の内容確認、
行政機関等への必要な
手続きの支援を行います。

check

「福祉サービス利用支援事業」とは、認知症や物忘れのある高齢者、知的障害、精神障害などで判断に不安のある方で事業の内容を理解できる程度の判断能力がある方を対象としている事業です。地域で生活されるうえで、必要な福祉サービスの利用援助や日常的金銭管理を行います。

募集要件

福祉活動に関心のある方／要自動車免許

平日の昼間で月１～４回
１時間程度の定期的な活動が可能な方

詳しくは事前面談にて説明します。まずはお気軽にお問い合わせください。

曽於市社会福祉協議会権利擁護センター　☎　0986-72-0460

曽於市生活相談支援センターより

このセンターは「生活困窮者自立支援法」に基づく相談窓口です

曽於市生活相談支援センターは**生活の不安や悩みを抱えている方からの相談を受け、一緒に考え、解決に向けて支援を行う場所**です。
例えば『働きたいけど自信がない、自分に合う仕事がわからない』といった仕事の相談や『家賃や公共料金が払えない』など**生活の中で出てくる様々な悩みについて一緒に考え、解決に向けてお手伝い**させていただいています。

今回はセンターが行っている 就労準備支援事業 についてご紹介します

就労準備支援事業は『社会との関わりに不安がある、他の人とのコミュニケーションがとれない』など**ただちに就労が困難な方が、支援協定を結んでいる事業所の協力をいただいて、2週間の就労体験を行うもの**です。
その中で協力事業所にその方の働く力を見極めていただきます。
協力事業所には就労へのサポートということで協力をいただいており、
現在は、一般企業での就労体験ではなく、就労継続支援事業所での就労体験をしていただいています。

働くことに不安を抱えている方に寄り添い、支援を進めていきますので、お悩みの方はまずはお気軽にご相談ください

曽於市生活相談支援センター
☎０９８６-５７-１７５０
相談窓口　そお生きいき健康センター内
曽於市末吉町二之方 2342 番地 2

相談から就労までの一例

相　談

療育手帳を持ちながら以前は、仕事をされていましたが、体調不良などから仕事を離れて２年ほど期間が空いている方からのご相談がありました。内容は、療育手帳も活用して何か仕事を探し、また働きたいというものでした。

検　討

しばらく仕事から離れているということで、まずは生活のリズムを整える必要がありました。
また体調の面から、どこまでの仕事ができるのか、検討することが望ましいということで、就労準備支援事業を利用していただくこととなりました。

就労支援

協定を結んでいる就労継続支援Ｂ型事業所の協力をいただき、**２週間の就労体験を**行い、障害枠での就労なども含めて今後について話し合いをおこなった結果、この**就労継続支援Ｂ型事業所に継続して通い、就労につながることができました。**

ご存じですか？

居宅介護支援事業所

介護支援専門員（ケアマネジャー）が、介護保険サービスを利用される要介護者や家族等が地域とのつながりを持ちながら、その人らしい在宅等での生活ができるように、専門的かつ中立的な立場で、介護に関する相談援助や計画作成、関係事業所等との連絡調整などを総合的に行います。

＼居宅介護支援事業所 職員より／

居宅介護支援事業所
あんしん
大迫　直美　さん

私が介護支援専門員として働きだした経緯は、介護支援専門員として働く先輩方の姿をみて影響を受けたことからでした。当初を振り返ってみると目の前の事にどのように関わっていくかが精一杯でした。今は**その方の昔からの生きてこられた現在までの道のりと生活の全てに携わる、とても特別なやりがいのある事と実感**しています。これからも皆様が住み慣れた地域で、元気に生きいきと安心した暮らしが送れるように人生の中のほんの一部ですが困り事が解決していけるように支援していきたいと思います。

居宅介護支援事業所
てんとうむし
俵迫　つきみ　さん

母の介護をきっかけに介護福祉士、ケアマネ資格を取得し居宅ケアマネ業務をしています。**「利用者様が自分らしくいきいきと過ごせるよう支援させていただく」という思いで利用者様の話を傾聴しそのお気持ちに寄り添うことを心がけ**ています。利用者様の生活習慣や生活環境等を踏まえ支援した結果、利用者様やご家族が笑顔で喜んでいただくと仕事のやりがいを感じます。今後も利用者様が自分らしく過ごせるように専門職として日々努力したいと思います。

曽於市社会福祉協議会
指定居宅介護支援事業所
萬代　将貴　さん

入職前はデイサービスで相談員として働いていました。理想とする介護の形に近づけてきたという自信もありながら、介護支援専門員として働きたいと思った理由は、利用者様とじっくり向き合い、**本人やご家族と一緒に自立や望む暮らしについて考え、実現していくことに魅力を感じた**からです。生活を支援していくことは、難しさでもありやりがいでもあると感じています。

曽於市内の居宅介護支援事業所	地域	電話番号	担当者名
居宅介護支援事業所　たきび	財部町	0986-72-1000	谷　口
居宅介護支援事業所　てんとうむし	財部町	0986-77-2173	竹之下
ケアプラン　あいり	末吉町	0986-36-6709	福　岡
アクア・マネジメント	末吉町	0986-51-8877	岩　元
居宅介護支援事業所　あんしん	末吉町	090-7925-5219	大　迫
末吉在宅介護総合センター	末吉町	0986-76-1075	木　原
中島病院（居宅介護支援事業所）	末吉町	0986-76-5793	石　本
指定居宅介護支援事業所ウェル	末吉町	090-9790-3345	河　野
輪光無量寿園居宅介護支援事業所	末吉町	099-482-5001	山　中
介護相談所　なごみ	末吉町	0986-36-7006	上　永
指定居宅介護支援事業所おおすみ苑	大隅町	099-482-3488	前　田
総合在宅ケアセンターやごろう苑（居宅介護支援事業所）	大隅町	099-471-2790	徳　永
曽於市社会福祉協議会指定居宅介護支援事業所	大隅町	099-482-4540	出　水

実習生より

今回、曽於市社会福祉協議会で24日間実習をさせていただきました。
曽於市では子ども、障がい者、高齢者、子育て世代など全世代の住民を対象とした様々な事業が展開されており、それぞれの専門職が連携しながら住民一人ひとりに寄り添った支援をされていることを学びました。また、地域で困っている方を専門職だけでなく住民同士で支え合う仕組みづくりにも取り組んでいました。私も社会福祉士の資格を取得して住民の方々と一緒に安心して暮らせる地域づくりに努めていきたいです。貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。

九州保健福祉大学　3年　亀澤　愛純 さん

九州保健福祉大学　3年
橋本　楓華 さん

社会福祉士の資格取得を目指す中で、24日間、ソーシャルワーク実習を受け入れていただきました。様々な課やセンターでの実習を体験させていただき、事業説明や会議・研修等の参加、同行訪問・施設見学・住民主体の行事等に参加することができました。高齢者が多い地域性のため、高齢者支援が充実しており、移動購買車や思いやりバス、地域包括支援センターの広報啓発が活発であると学びました。曽於市社会福祉協議会の基本理念である「人と人とのつながりを大切に　地域と共に歩む」という言葉を体現している組織であると感じました。今後は、住民の方に寄り添い関係機関と連携しつつ、皆が互いにつながりを感じられる地域づくりを目指していきたいです。実習を受け入れてくださり、ありがとうございました。

やさしいスマホ講座　参加者募集

スマートフォンで便利な機能やLINEについて勉強してみませんか？初心者の方にもおすすめのやさしい講座です。

日　時　令和6年3月17日（日）　10：00～12：00
会　場　そお生きいき健康センター
講　師　曽於市社会福祉協議会職員、学生ボランティア
定　員　15名　　先着順
対　象　スマートフォンを持っている曽於市在住・在勤の方

受講料　無料
持ち物　個人所有のスマートフォン、筆記用具
申し込み・お問合せ先
3月6日（水）までに曽於市社会福祉協議会にご連絡ください。　TEL：**0986-72-0460**

無料法律相談開設について

ひまわりの会による無料法律相談

○相談料：**無料**（相談者からはいただいておりません）
※1回につき相談時間は30分以内
○申込・受付方法：**事前に予約が必要です。**
○お問合せ先：
ひまわりの会　事務局　代表弁護士　山口　政幸
鹿児島市山下町12番17号2階
TEL：**099-227-0041**（受付：平日9時～17時）

○相談日時及び会場

会場	相談日時
財部保健福祉センター	**4月18日**（13時から16時まで）
そお生きいき健康センター	**2月15日、5月16日**（13時から16時まで）
大隅弥五郎伝説の里	**3月21日**（13時から16時まで）

藤尾法律事務所による無料法律相談

○相談料：**無料**（相談者からはいただいておりません）
※1回につき相談時間は30分以内
○申込・受付方法：**事前に予約が必要です。**
○お問合せ先：
弁護士法人 大隅広域ディフェンダー
藤尾法律事務所 末吉支所
曽於市末吉町本町1-4-5　TEL：**0986-51-9830**

○相談日時及び会場

会場	相談日時
財部保健福祉センター	**3月12日、4月9日、5月14日**（13時から15時まで）
大隅弥五郎伝説の里	**2月20日、3月19日、4月16日、5月21日**（18時から20時まで）

たくさんの善意に感謝いたします

曽於市社会福祉協議会では、ご寄付を曽於市民の皆様の地域福祉向上のために大切に使わせていただきます。掲載につきましては、ご本人の承諾を得てご希望どおりに掲載しております。（**R5.11.1 ～ R6.1.31 受付分**）

香典返し寄付金

財部地区

天辰 まゆみ 様／きらめきタウン
上井 フミ子 様／下谷川内
上田 利弘 様／田平
徳丸 衛 様／下谷川内
粂田 敬志 様／新田
久木野 信子 様／刈原田

末吉地区

松下 直子 様／新町
栄徳 幸弘 様／前川内
前田 楠夫 様／東高松
有村 マスエ 様／宮原
平川 咲子 様／上内門
貴嶋 邦夫 様／前川内
柳 トヨ 様／新高松
和田 寛子 様／川内下
匿名／原村
外園 智子 様／上町
柏田 千代美 様／西柳井谷
中武 友紀 様／新町
峯崎 テル子 様／谷野
長野 洋子 様
匿名 1 名

大隅地区

竹下 一成 様／飯田
平木 ミル 様／東桜ヶ丘
津曲 髙一 様／東桜ヶ丘
嶽 清子 様／東馬場
津曲　教昭 様／吉井
鳥越 ゆう子 様／上馬場
八木 文弘 様／梶ケ野
鶴田 明美 様／上馬場
牧之瀬 峰子 様／新城
原田 道夫 様／あけぼの
匿名 1 名

一般寄付金品

財部地区

山下 貞良 様／吉ヶ谷
粂田 敬志 様／新田／車椅子

末吉地区

川村 ヤス子 様／東法楽寺／ 30,000 円
大園 征郎 様／中高松／ 3,000 円
大園 洋子 様／中高松／ 2,000 円

大隅地区

そお鹿児島農業協同組合／ 50,962 円
牧元 タエ子 様／おりた／歩行器
匿名 1 名

▲そお鹿児島農業協同組合より第 26 回組合長杯ゴルフ大会でのチャリティー募金の寄付をいただきました。ありがとうございました。

＼ 令和６年度情報紙モニター募集 ／

令和 6 年度情報紙モニターとして、情報紙にご意見をいただける方を募集します。詳しくはお問い合わせください。
曽於市社会福祉協議会　総務課　TEL：**0986-72-0460**

お詫び

「手と手」第 89 号「サマーボランティア体験活動 2023」における濱田様の学校名に誤りがございました。正しくは「都城高校」でした。心よりお詫び申し上げます。

社協公式 SNS・ホームページはこちら

地域福祉の様々な情報をお届けしています

ホームページ　公式 LINE　Instagram

曽於市社協情報紙へのご意見はこちらから

編集後記

早いもので新年を迎えて一か月が経ちました。今年は年明けに能登半島地震が発生し、被災された方々が今も不安を抱えて生活されています。そして、多くの人々が被災地のために力を尽くしたいと思い、さまざまな支援活動が行われています。義援金を始め、支援の方法はいろいろありますが、私も自分にできることをしたいと考えています。2024 年の干支「甲辰」は芽吹きの年、積み上げてきたものが実を結ぶ年になると言われています。一人ひとりの力は微力かもしれませんが積み重ねることで大きな力になると思います。支援の輪が芽吹いて広がることを、そして、被災地の一日も早い復興を心から願っております。

M・H

この情報紙は、地域住民の皆様からの赤い羽根共同募金を財源に発行しています。